

中央小学校6年

竹内麻紘さん



荻谷小学校6年

井戸南斗くん



幸田町のほこい

私が思う、幸田町のほこい。私れるところは、生き物がたくさん住んでいるところだと思えます。たくさん生き物の生き物の中には、日本で絶滅のおそれがあるメダカやタガメなどがいます。二つとも私の身近な所に見えます。いつも当たり前に見ている生き物が貴重なんだと思うと、大切にしようと思えました。

生き物がたくさん住んでいるということは、住みかとなる池や花、木がたくさんあるということなんです。3年前、中央小学校も「COP10」で校庭の「みんなの森」にドングリの苗木を植えました。この森にも貴重な鳥や虫が来てくれるといいです。自然豊かなところも幸



田町のほこりの一つだと思います。私は生き物がたくさん住んでいて、自然豊かな幸田の町が好きです。だから、大人になってもずっと住んでいたいと思います。

ぼくの夢

ぼくの夢は自動車を作ることです。

5年生の時に社会で自動車産業について勉強した時、幸田町内にも自動車作りに関係の深い会社がたくさんあることを知りました。実際に見学へ行って働いている人の話を聞いたり、車のことについて調べたりして、日本は、世

界的にも自動車大国であることが分かりました。そんな自動車産業を支える会社がたくさんあることは、幸田町の自慢です。

ぼくのお父さんも自動車を作る仕事をしていました。ぼくも将来、自動車を作りたいです。世界の人みんなに喜んでもらいた

ごとく思っています。



地域の良さを生かすために

南部中学校3年

鈴木大揮くん



僕は、昨年「幸田町子ども会議」に参加させていただきました。そこで、幸田町について話し合いをもち、考えたことがあります。それは、幸田駅や相見駅など中心部の開発が進み、うれしく感じるとともに、僕の住んでいる深溝ももっと開発できるのではないかとということです。深溝は自然が豊かなので、将来はその自然の良さを生かしたことができると思えます。例えば、梨や筆柿、ナスなどの特産物の農業体験を行う催しやホテルを保存し育て、自然の大切さを町外の人たちに知ってもらうなど、深溝の良さを引き出して行く方向はいろいろあると思います。

僕は幸田町が好きです。町全体を盛り上げていけばさらに愛される町になると思います。

